



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年8月10日

上場会社名 スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社 上場取引所 大
 コード番号 2712 URL <http://www.starbucks.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役最高経営責任者 (氏名) 岩田 松雄
 (CEO)
 問合せ先責任者 (役職名) ファイナンス&アドミニスト (氏名) 北川 徹 (TEL) 03 (5412) 7481
 レーション統括オフィサー
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	25,170	5.4	2,069	1.8	2,175	2.7	△1,043	—
22年3月期第1四半期	23,880	2.3	2,033	65.8	2,117	69.0	938	49.8

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	△731	06	—	—
22年3月期第1四半期	657	72	654	33

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
23年3月期第1四半期	47,404	31,307	31,307	66.0	21,930	26		
22年3月期	48,335	33,061	33,061	68.4	23,163	91		

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 31,307百万円 22年3月期 33,061百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	0	00	—	400	00
23年3月期	—					
23年3月期(予想)		0	00	—	500	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	50,400	3.8	4,000	△2.4	4,100	△2.9	△100	—	△70	05
通期	101,500	4.6	6,750	4.8	6,900	4.0	1,250	△62.7	875	59

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：有

4. その他（詳細は、添付資料3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成にかかる会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	1,427,607株	22年3月期	1,427,277株
23年3月期1Q	—株	22年3月期	—株
23年3月期1Q	1,427,466株	22年3月期1Q	1,426,489株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点におきまして、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、平成22年5月13日に公表いたしました内容から変更しております。詳細につきましては、平成22年8月10日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を内包しております。したがって、個人消費の動向や経済環境などの諸要因の変化により、実際の業績等は記載内容と異なる可能性があることを予めご承知おきください。

(金額単位の変更について)

当社の四半期財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額につきましては、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期会計期間より百万円単位をもって記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前第1四半期会計期間につきましても百万円単位に組替え表示しております。

添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、欧州における財政不安を発端とした景気の下振れ懸念はあったものの、中国を中心としたアジア諸国の堅調な需要に支えられ、輸出型の産業を中心として企業収益の改善が見られました。

雇用情勢につきましては、依然として改善の傾向が見られませんが、個人消費は一部の業種及び業態において緩やかな回復基調に転じております。

当社が属するスペシャルティコーヒー市場におきましても、消費者の低価格志向が薄らいだ結果、客数の増加などを始めとして回復の兆しが見られるようになりました。このような状況の下、当社は次のような事業展開を行いました。

当社の強み及び特長であります「最高のコーヒー」「くつろげる空間」「パートナーによる魅力的なサービス」を生かした「サードプレイス（お客様の職場と家庭との間にあって、いつでも安心してくつろげる第三の場所）」の提供を一層強化し、ブランドの差別化に努めました。

新商品につきましては、4月より発売を開始した本格的なプレミアムスティックコーヒー「スターバックス ヴィア® コーヒーエッセンス」が大変ご好評いただきました。また、ビバレッジでは「ダーク モカ チップ フラペチーノ®」や、同商品を初夏に合わせてアレンジした「ダーク モカ & オレンジ フラペチーノ®」が、フードでは「抹茶蒸しパン」や「バニラシフォンケーキ」などがご好評いただきました。

店舗展開につきましては、環境に配慮したグリーンストア「福岡大濠公園店」や徳島県第1号店となる「徳島駅クレメントプラザ店」等を出店いたしました。10店舗の新規出店、1店舗の退店（出退店のいずれも直営店）を行った結果、当第1四半期累計期間末における店舗数は886店舗（うちライセンス32店舗）となりました。

以上の活動の結果、売上高は25,170百万円（前年同期比5.4%増）となりました。取引件数が順調に推移した結果、既存店売上高は対前年同期比102.7%となりました。また、継続的な新規出店により全体でも増収となりました。

月別の既存店対前年同期比は以下の通りです。

	月	4月	5月	6月	第1四半期累計
既存店 対前年同期比	売上高	100.7%	103.7%	103.4%	102.7%
	取引件数	101.1%	104.3%	104.9%	103.5%
	客単価	99.6%	99.5%	98.6%	99.2%

売上総利益は18,341百万円（同6.1%増）と、前年同四半期累計期間に比べて1,050百万円の増益となり、売上総利益率は72.9%（同0.5ポイント増）となりました。これは従来より取り組んでまいりました原材料価格の低減施策及び品揃えの最適化等の、収益改善効果が表れたことによるものです。

営業利益は2,069百万円（同1.8%増）と、前年同四半期累計期間に比べて35百万円の増益となりました。これは店舗環境及び人材への投資拡大による経費の増加等により、販売費及び一般管理費率が64.6%（同0.7ポイント増）となったものの、売上総利益の増加によるものです。

経常利益は2,175百万円（同2.7%増）と、前年同四半期累計期間に比べて57百万円の増益となりましたが、当第1四半期累計期間より「資産除去債務に関する会計基準」が適用となったことによる影響額2,852百万円、及び同会計基準適用を契機として、対象となる有形固定資産の耐用年数の見積りを変更したことによる過年度分の償却費相当額705百万円を固定資産臨時償却費として特別損失に計上したこと等により、1,043百万円の四半期純損失（前年同四半期累計期間は938百万円の四半期純利益）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて931百万円減少して47,404百万円となりました。流動資産は、前事業年度末に比べて469百万円減少いたしました。これは、主に未払金や法人税等の支払いなどにより現金及び預金が1,218百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて462百万円減少いたしました。これは、主に当第1四半期会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」が適用となったことにより資産除去費用を計上したものの、減価償却及び減損損失処理等により有形固定資産が335百万円減少したことによるものです。

流動負債及び固定負債は、前事業年度末に比べて821百万円増加いたしました。これは、主に未払金や法人税等の支払いによる減少があったものの、資産除去債務3,588百万円の増加等によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べて1,218百万円減少し、8,141百万円となりました。

営業活動による資金の減少は、1百万円(前年同期は2,086百万円の増加)となりました。これは、主に資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額2,852百万円や固定資産臨時償却費705百万円があったものの、税引前四半期純損失1,700百万円や法人税等の支払い2,437百万円によるものです。

投資活動の結果使用した資金は、722百万円(前年同期差559百万円減)となりました。これは、主に新規出店及び既存店の改装を主目的とする有形固定資産の取得による支出713百万円によるものです。

財務活動の結果使用した資金は、494百万円(同128百万円増)となりました。これは、主に配当金の支払い502百万円によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

前事業年度から進めている店舗環境及び人材への積極的な投資や、新商品「スターバックス ヴィア® コーヒー エッセンス」の投入などの施策に牽引され、第2四半期累計期間の既存店売上高は期初の想定を上回る水準で推移しております。また、通期につきましても、第2四半期累計期間の好調な業績見通しを踏まえ、売上高、営業利益、経常利益ともに過去最高を更新する見込みとなりました。

このような状況に鑑み、平成22年5月13日に公表いたしました平成23年3月期第2四半期累計期間(平成22年4月1日～平成22年9月30日)及び通期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、平成22年8月10日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定する方法としております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前事業年度末以降に経営環境等、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

① 税金費用

当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法としております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は65百万円減少し、税引前四半期純損失は2,918百万円増加しております。また、当会計基準の適用開始による資産除去債務の変動額は3,517百万円であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,141	9,359
売掛金	3,103	3,377
商品及び製品	941	973
原材料及び貯蔵品	1,672	1,257
その他	4,287	3,650
貸倒引当金	24	26
流動資産合計	18,121	18,591
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	8,156	8,372
その他(純額)	2,995	3,114
有形固定資産合計	11,151	11,486
無形固定資産	1,233	1,321
投資その他の資産		
差入保証金	15,911	15,962
その他	1,074	1,068
貸倒引当金	88	95
投資その他の資産合計	16,896	16,935
固定資産合計	29,282	29,744
資産合計	47,404	48,335
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,210	2,660
短期借入金	200	200
1年内返済予定の長期借入金	195	195
未払法人税等	148	2,661
賞与引当金	171	-
その他	9,106	9,221
流動負債合計	12,032	14,938
固定負債		
長期借入金	230	230
役員退職慰労引当金	19	19
資産除去債務	3,588	-
その他	226	87
固定負債合計	4,064	336
負債合計	16,096	15,274

(単位: 百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,384	8,380
資本剰余金	10,959	10,955
利益剰余金	12,254	13,868
株主資本合計	31,597	33,204
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	290	143
評価・換算差額等合計	290	143
純資産合計	31,307	33,061
負債純資産合計	47,404	48,335

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位: 百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	23,880	25,170
売上原価	6,589	6,829
売上総利益	17,291	18,341
販売費及び一般管理費	15,257	16,271
営業利益	2,033	2,069
営業外収益		
受取利息	0	3
受取補償金	31	0
プリペイドカード失効益	30	30
その他	28	78
営業外収益合計	91	112
営業外費用		
支払利息	6	2
その他	0	5
営業外費用合計	7	7
経常利益	2,117	2,175
特別利益		
退移店補償金	-	2
その他	-	0
特別利益合計	-	2
特別損失		
減損損失	376	312
固定資産除却損	11	6
固定資産臨時償却費	-	705
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	2,852
その他	7	1
特別損失合計	395	3,878
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失()	1,722	1,700
法人税等	783	656
四半期純利益又は四半期純損失()	938	1,043

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 ()	1,722	1,700
減価償却費	859	866
固定資産臨時償却費	-	705
減損損失	376	312
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	2,852
引当金の増減額(は減少)	12	162
受取利息及び受取配当金	0	3
支払利息	6	2
為替差損益(は益)	0	0
有形固定資産除却損	18	6
売上債権の増減額(は増加)	299	273
たな卸資産の増減額(は増加)	89	383
仕入債務の増減額(は減少)	354	449
その他	158	212
小計	3,008	2,433
利息及び配当金の受取額	0	3
利息の支払額	5	0
法人税等の支払額	917	2,437
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,086	1
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	1,085	713
無形固定資産の取得による支出	124	111
差入保証金の差入による支出	222	83
差入保証金の回収による収入	92	163
その他	58	22
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,281	722
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	2	7
配当金の支払額	368	502
財務活動によるキャッシュ・フロー	365	494
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	439	1,218
現金及び現金同等物の期首残高	3,956	9,359
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,395	8,141

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

(販売実績)

当第1四半期累計期間の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	当第1四半期累計期間 自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日		
	売上高(百万円)	売上構成比(%)	前年同期比(%)
店舗販売			
ビバレッジ	18,121	72.0	101.9
フード	3,883	15.4	106.4
コーヒー豆	1,570	6.2	184.0
コーヒー器具等	1,025	4.1	91.8
店舗販売計	24,600	97.7	105.1
その他	569	2.3	120.5
合計	25,170	100.0	105.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。